

平成12年7月28日

平成13年3月期第1四半期の業績等の概況

会 社 名 株式会社エフアンドエム
(コード番号4771)
本社所在地 大阪府吹田市豊津町12番38号
問 合 せ 先 責任者役職名 管 理 本 部 長
氏 名 杉 浦 友 泰
T E L 06 (6339) 7177

1 業 績 (注) 百万円未満切捨て

(1) 平成13年3月期第1四半期(平成12年4月1日～平成12年6月30日)の業績

	13年3月期第1四半期 (当四半期)	対前年同 期増減率	12年3月期第1四半期 (前年同四半期)	参 考 前期(通期)
売 上 高	779 百万円	30.9 %	595 百万円	2,769 百万円
営 業 利 益	118	57.5	75	431
経 常 利 益	120	47.6	81	440

(注) 前年同四半期の数値に関しましては、四半期決算を行なっておりませんが、月次の数値を参考にしております。

(2) 部門別の売上高内訳

	13年3月期第1四半期 (当四半期)		対前年同 期増減率 %	12年3月期第1四半期 (前年同四半期)		参 考 前期(通期)	
	金 額 (百万円)	構 成 比 (%)		金 額 (百万円)	構 成 比 (%)	金 額 (百万円)	構 成 比 (%)
エー! 事業本部	538	69.0	27.8	420	70.7	1,962	70.9
エフアンドエムクラブ 事業本部	221	28.4	28.9	171	28.8	779	28.2
アウトブレースメント 事業部	15	2.0				3	0.1
インターネット 事業部	0	0.1					
そ の 他	4	0.5	38.4	3	0.5	23	0.8
合 計	779	100.0	30.9	595	100.0	2,769	100.0

(注) 前年同四半期の数値に関しましては、四半期決算を行なっておりませんが、月次の数値を参考にしております

(3) 主な資産・負債の変動について

(単位：百万円)

項目	13年3月期第1四半期	増減額	前期末
(資産)			
現金及び預金	709	180	889
売掛金	398	97	301
建物	59	20	38
投資有価証券	187	33	154
(負債)			
短期借入金	662	167	495
未払法人税等	35	151	186
賞与引当金	50	50	101

(注) 項目ごとの変動額が総資産額の1%を超えるものを記載しております。

(注) 当四半期に係る数値について、公認会計士又は監査法人の監査を受けておりません。

2 当期第一四半期業績の概況

(1) 事業部別概況と今後の見通し

アウトソーシング事業<売上高538百万円(対前年同期増減率27.8%)>

当四半期におけるアウトソーシング事業の取り組みとしましては、前年度より引き続いた生命保険会社営業職員向け記帳代行での当社寡占化戦略を実践することにより、前年同期を上回る顧客獲得の伸びが実現できました。具体的な施策としましては、当事業における顧客獲得手段である、各生保営業拠点における説明会の設定を期首より積極的に進めました。また各支社への営業機会を設ける為、当社エフアンドエムクラブ事業との連携を図るとともに、各支社長よりの紹介により、未開拓拠点の開拓が順調に進みました。加えて新人営業職員向け等の各種キャンペーンが効を奏し、尚一層の当社寡占化を進めることができました。

この結果、全国の各営業拠点で3,315件のサービス説明会を行い、顧客数4,376人(12年3月末比)の純増となり、顧客総数は43,397人となりました。

今後の当事業の施策としましては、他社サービス内容等のマーケティングに注力することで、新しいキャンペーン等を企画し、引き続き未開拓地域への営業エリア拡大を図り、顧客数増大をより加速させる方針です。

エフアンドエムクラブ事業<売上高221百万円(対前年同期増減率28.9%)>

当四半期におけるエフアンドエムクラブ事業の取り組みとしましては、会員企業獲得の施策として、セミナー開催に注力致しました。当社と協力関係にある各生命保険会社が主催する「助成金セミナー」等に当社より講師を派遣することにより、当社エフアンドエムクラブサービスを紹介する他、営業スタッフを各層別に研修等を行うことにより、スキルアップに努めました。その結果、当四半期での顧客数は純増で456社(12年3月末比)、総数で4,144社となりました。純増数は前年同四半期と比べ約4.1倍の伸びを確保しており、エフアンドエムクラブ会員獲得のバロメーターとなる無料総務診断紹介アンケートも各生命保険会社を中心に順調に回収が進んでおり今後も同四半期並みのペースでの顧客数純増が可能であると、考えられます。

今後の当事業の取り組みとしましては、現在の生命保険会社からの紹介案件以外の紹介ルートを構築するのが、急務と考えます。施策としましては、銀行等の他金融機関向けのセミナー等への講師派遣を進めることによって新たな顧客紹介ルートの基盤を確立してまいります。また当四半期に引き続き、優秀な人材の確保・育成の為、採用・教育に注力してまいります。

アウトプレースメント事業<売上高15百万円>

当四半期におけるアウトプレースメント事業の取り組みとしましては、前期よりテストトリアルにて開始したマーケティングを踏まえ、事業収益基盤の確立・先発アウトプレースメント会社との差別化ポイントの確立に努めてまいりました。

具体的施策としましては、

- ・ 中高年求人案件収集構造・・・エフアンドエムクラブにおける営業構造を活用し、当四半期にて

700件の求人案件を収集。

- ・管理実務講座の実施・・・「中堅・中小企業への適合人材」への変革を目指した「管理実務講座」
- ・情報管理体制の整備・・・求人案件検索システム
- ・求人案件保有の徹底訴求・・・月度2回の「求人案件ニュース」

等のサービス体制、ビジネスモデルの構築に注力しました結果、登録人材数350人、登録人材提供企業数40社、求人案件900件となり、当事業の当社への収益寄与の環境は整いつつあると考えます。

今後の当事業での取り組みとしましては、求人案件に比して未だ充分ではない「人材登録数」の増加を課題とし、人材登録の確保に注力するとともに、「在籍出向斡旋」サービスの強化を図り、「求人開拓力」を広く訴求することで、「再就職決定力」を保有した事業モデルであることを認知して頂くことで、収益基盤の確立に努めてまいります。

インターネット事業

当四半期におけるインターネット事業の取り組みとしましては、期首より開発をスタートした総務部門のポータルサイトを目指した「e-somu」の完成に向け注力してまいりました。当サイトは総務部門に専任の担当者を置くことのできない企業に対し、経営者若しくはその補佐的な方がスムーズに総務業務ができることを目的とした、無料のポータルサイトであります。平成12年5月1日より、モニターを開始し随時改良を加えながら、当社上場日の同7月21日より一般向けサービスとして、リリースしています。

当事業における、収益の源泉はサイト上の広告収入と事務用品等の物販手数料を予定しており、現在広告代理店及び総務周りの購買物取扱会社等と交渉中であります。今後の取り組みとしましては、ユーザー獲得が最優先課題であり、当事業での収益確保も短期間でのユーザーの囲い込みがポイントであります。当事業での当社への収益貢献ラインは、当社では5万ユーザー獲得後であるとの考えから、第2・第3四半期はユーザー獲得へ注力してまいります。これらユーザー獲得の施策としましては、広告による一般ユーザーの獲得と協力関係にある各生命保険会社の顧客向けサービスの一つとして提供することによって、短期間でのユーザー獲得を実現する方針です。加えて、iモード上でのサービス展開としてプロ野球速報「PATAPATA.com」のユーザー獲得を本格化し、「e-somu」同様に当事業の収益サービスとしての基盤の確立を目指します。

(2) 売上原価及び売上総利益について

当四半期の各事業部の売上原価及び売上総利益は以下のとおりです。

- ・アウトソーシング事業部・・・売上原価：204百万円、売上総利益：333百万円（対前年同期増減率44.8%）
- ・エフアンドエムクラブ事業部・・・売上原価：47百万円、売上総利益：174百万円（対前年同期増減率83.7%）
- ・アウトプレースメント事業部・・・売上原価：17百万円、売上総利益：1百万円
- ・インターネット事業部・・・売上原価：12百万円、売上総利益：12百万円
- ・全社計・・・売上原価：281百万円、売上総利益：497百万円

(3) 当期の見通し

当期の業績見通しにつきましては、第一四半期の業績結果を踏まえて順調に推移しており、通期予想につきましても、現在のところ変更はありません。

	売上高 百万円	経常利益 百万円	当期純利益 百万円	1株当たり 当期純利益 円 銭	1株当たり 年間配当金 円 銭
平成12年3月期	2,769	440	232	44,104.67	5,000.00
平成13年3月期(予想)	3,582 (+29.3%)	648 (+47.2%)	324 (+39.4%)	54,296.07	5,000.00

()内は前年比

3 その他

(1) 新株発行について

当社は7月21日にナスダックジャパン市場に上場し、ブックビルディング方式により、1株200万円で700株の新株を発行いたしました。その結果発行済株式数5,968株、資本金826百万円、資本準備金1,044百万円となっております。

(2) 新役員の就任について

平成12年6月8日の株主総会において、新たに監査役として福島正己が選任され、役員は7名となりました。